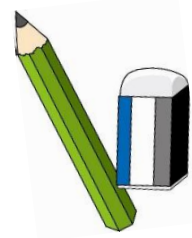


筆記用具について



① えん筆について

- (1) 種類 ... 低学年は、筆圧が弱いので4B以上がよい。
中学年以上は、2B～4Bくらい。

※HBよりかたい鉛筆ではうすすぎて読みにくく、小さな字になりやすい。

※シャープペンは便利ではあるが、しっかりとした字を書くには不向きである。字をきちんとしっかり書いてほしい小学生では、学習の時には使用しない。

- (2) 本数 ... 1時間に1本をめやすとして、5～6本用意しておく。

- (3) その他 ... えん筆はシンプルで無地に近いものがよい。

えん筆は家できちんとけずってくる。

短いえん筆では書きにくい。しっかり持てる長さが必要である。短すぎるものについては家用にするなどして、新しい物とかえる。

② ターピー等について

○12色のもので十分である。

○いろいろな色のボールペン・サインペン等については、別の入れ物にする。(使う時だけ、指示のもとに持ってくる)

○赤・青えん筆(赤・青ボールペン)は、単色のものがのぞましい。

③ フェルトペン(ネームペン)について

○書写で使用することもあるので、うらうつりしないものがよい。

○中・高学年は必要に応じて使用することが多くなるので、記名用をいつも持っているとうよい。



④ 筆箱にいつも入れておくもの ※筆箱は華美ではなく、箱型が望ましい

☆えん筆5～6本 ☆赤・青えん筆 ☆フェルトペン(ネームペン)

☆消しゴム(よく消える色・香りのないもの)

☆15cmくらいの定規(透明なもの・折りたたみ不可)

※全ての筆記用具に名前を書いて、大切に使いましょう。